

授業科目 小児看護学方法論 I	担当講師名	単位数 2	時間数 60	履修年次・前/後
	専任教員名			2年次/前期
講義のねらい	1 疾病や健康障害を持つ小児とその家族の、経過や場に応じた看護や、器官系統別及び虐待や事故による健康問題や看護について理解する。			
授業形態				
講義内容	1 疾病・障害を持つ小児と家族の看護 1) 病気や入院が子どもと家族に与える影響 2) 病気になった子どもと家族の看護 3) 外来における小児と家族の看護 (1) 外来の機能と求められる看護 (2) 外来を訪れる小児と家族の特徴		①	26
	2 小児の状況に特徴づけられる看護 1) 感染対策上、隔離が必要な小児と家族の看護 2) 心身障害のある小児と家族の看護 3) 在宅療養を行う小児と家族の看護 4) 災害時の小児と家族の看護			
	3 小児の疾病の経過と看護 1) 慢性期にある小児と家族の看護 2) 急性期にある小児と家族の看護 3) 周手術期の小児と家族の看護 4) 終末期にある小児と家族の看護			
	4 小児のフィジカルアセスメント			
5 各器官系統別の小児の健康問題と看護 1) 染色体異常・胎内環境による先天異常と看護 2) 新生児の疾患と看護 3) 消化器疾患と看護 4) 呼吸器疾患と看護 5) 循環器疾患と看護 6) 血液造血器疾患と看護 7) 悪性新生物と看護 8) 腎・泌尿器および生殖器疾患と看護 9) 代謝・内分泌・免疫・アレルギー・リウマチ性疾患と看護 10) 感染症と看護 11) 皮膚・眼・耳鼻咽喉疾患と看護 12) 運動器疾患と看護 13) 神経疾患と看護 14) 精神疾患と看護		②	8 6 6 8	
	6 小児の事故・外傷と看護 1) 小児の事故と処置 演習: ①気道異物の除去法 ②溺水時の応急処置(一次救命救急処置) 2) 救急救命処置が必要な小児と家族の不安の緩和		①	6
7 子どもの虐待と看護 1) 子どもの虐待の現状と対策 2) リスク要因と発生予防・早期発見 3) 虐待を受けた小児のケアと親に対するケア				
教科書	①系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学①(医学書院) ②系統看護学講座 専門分野 小児臨床看護各論 小児看護学② (医学書院)			
参考文献	1 国民衛生の動向(厚生労働統計協会) 1 看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント(学研) 1 小児看護ビジュアルナーシング(学研メディカル秀潤社) 4 DVD 小児のフィジカルアセスメント 幼児 I・II、乳児			
評価方法	終講試験 1・2・3・4・5(看護)・6・7 100点 終講試験 5(疾病・治療) 100点			
備考欄	演習は実習室で、演習内容に応じて、白衣や小児の安心につながるエプロンを着用して実施する。 教員とのコンタクトは授業終了後又は終講時に案内する。			